

びみょう しきさい ひょうげん はんがしよくにん
微妙な色彩を表現した版画職人

すけだ

あつお

助田篤郎

生没年：1954年(昭和29)～2022年(令和4)



とうしゃばん ぎほう もち びみょう しきさい ちが ひょうげん
✿ 謄写版の技法を用いて、微妙な色彩の違いを表現した
はんがしよくにん
版画職人です。

すけだ しげぞう じなん あに こうはんいんさつ きそ まな
✿ 助田茂蔵の次男で、兄から孔版印刷の基礎を学び、の
ちち いんさつしょ けいえい ひ つ
ちに父の印刷所の経営を引き継ぎました。

ちち くさばな え か とうしゃばん ちゅう
✿ 父が草花の絵を描くようになると、それを謄写版で忠
じつ さいげん しゅつぱん
実に再現して出版しました。

ひと いろ ひょうげん いろ す かせ
✿ 一つの色を表現するために、いくつもの色を刷り重ねて
どくとく あじ さくひん のこ
独特の味わいのある作品を残しました。

たか ぎじゅつ みと けんないがい しかぼん せい いんさつ
✿ その高い技術が認められ、県内外から私家本※の印刷の
いらい う
依頼を受けました。

※ 私家本…著者が友人や関係者など狭い範囲に配るためにつくった
しよせき
書籍。